

白山中学校 第1学年 英語科シラバス 担当者 小高 史成

教科の目標	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
<p>・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による4つの領域の言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>一 学 期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ/身のまわりのもの/数字 ○アルファベットの読み書き ○名前・単語・文の書き方 ○be動詞を用いた文 ・ I am / You are / He is / She is / This is / That is とその疑問文、否定文 ○辞書の引き方 ○一人称・二人称主語の一般動詞の肯定文、疑問文、否定文 ○複数形と How many...?の文と答え方 ○命令文（一般動詞・be動詞）、否定命令文 ○自己紹介 ○助動詞 can の平叙文、否定文、疑問文 ○疑問詞 what・who・how・when・where ・ what・what time を用いた疑問文 ○I want to ~の用法（不定詞名詞的用法） ○動名詞の用法 ○一般動詞の過去形（不規則動詞 went） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語の振り返り ・中学校英語への導入 ・自分のことや身の回りのことが表現できるようにする。 ・知らない単語の意味を辞書を使って調べることができる。 ・動作を表現することにより、表現の幅を広げる。 ・数を数えたり、たずねたりできる。 ・何かを指示したり、提案したりできる。 ・自己紹介文を書けるようにする。 ・自分ができていることを表現できる。 ・自分がしたいことを表現できる。 ・さまざまな疑問文を習得し、基本的な事柄について尋ねることができる。 ・過去に行った場所を言うことができる。
<p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションをしているか。 ・授業を通して身につけた英語を、場面に応じて的確に理解し、表現できたか。 ・言語や文化への知識や理解は高まったか。 	<p>二 学 期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三人称単数現在形の肯定文、疑問文、否定文 ○依頼・許可を求める表現（Can you ~?、Can I ~?） ○人称代名詞 ○疑問詞 which の用法 ○疑問詞 whose の用法 ○体調についての表現方法 ○現在進行形の平叙文・否定文・疑問文 ○感嘆文（What a ~! How~!） ○不定詞の用法（名詞的用法） ○look+形容詞 ○道案内 ○英語での電話のかけかた 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に関わる人や物について説明することができる。 ・相手に依頼をしたり、許可を求めたりすることができる。 ・所有者について質問することができる。 ・自分の体調について伝えることができる。 ・今何をしているのか言えたり、質問することができる。 ・驚きを表現できる。 ・自分がしたいことを言える。 ・道順をたずねたり、教えることができる。 ・電話での応答ができる。
<p>評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度や参加の様子 ・帯活動の状況、パフォーマンステスト ・定期テスト、教師による観察、小テスト、ノート・ワーク・課題の提出、等 	<p>三 学 期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過去形（規則動詞） ○過去形（不規則動詞 went 以外） ○過去形の疑問文・否定 ○絵葉書 ○be動詞の過去形（was, were）の用法 ○There is~. There are ~.の用法 ○過去進行形 ○既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去にしたことを言えることができる。 ・過去にしたことについて質問したり、答えたりすることができる。 ・過去の自分や相手の状態や立場などについて言ったり、質問したり、答えたりできる。 ・人や物の存在について表現ができる。 ・過去のある時点についてしていたことを表現することができる。
<p>特色ある学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が積極的に、かつ意欲的に学習に取り組めるような教材・教具を用意する。（やり取りや表現活動の工夫） ・ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫をする。 ・ALTとの共同作業により英語教室の掲示などを工夫し、英語に対して広く関心を持たせる工夫をする。 		